

## 特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

### 1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより入居者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

### 2 今年度重点事業目標

#### (1) 経営基盤の確立

ア 稼働率95%を目標として運営を行う。

イ 空床から入所までの期間を短縮し、関係事業所と連携を行い、スムーズな入所調整を行う。また、近隣地域の関係事業所と連携し、待機者数の確保に努める。

ウ 空所利用型短期入所を開始し入所へ繋げる。

エ 業務の効率化及び電気代等の経費削減に努め、適切な予算管理を行う。

#### (2) 個別ケアの充実

ア 「真心」「思いやり」の心を持った介護・接遇に努め、「その人らしく生きる」ということに重点を置き、認知症や障がい等について研修や事例検討を定期的に行い、ケアの充実を図る。

イ 一人ひとりのニーズと意思を尊重し、『～をしたい』を実現させるケアに取り組む。

ウ 移りゆく季節を五感で感じて頂けるよう行事を実施すると共に、居心地の良い空間作りに努める。

#### (3) 重度化に対応するサービスの質の向上

ア 日常生活を継続できるように必要なリハビリ活動を実施し、日々の体調管理と観察、情報共有に努め、異常の早期発見・早期治療に繋げる。

イ 目指す職員像を明示し、人間力及び現場力を兼ね備えた責任感及び専門性の高い職員の育成を図る。

ウ 尊厳ある生活を担保できるように些細な事にも目を向け、気づきの機会を増やし、「身体拘束ゼロ」「虐待ゼロ」に取り組む。

エ 多職種連携のもと家族へ情報提供を緊密に行い、風通しのよい雰囲気づくりと信頼関係の構築に努める。

オ 健康状態に合わせた適切な食事提供と、認知機能や摂食嚥下機能の低下により経口摂取が困難になっても「生涯、口から食べることを継続（食べるを諦めない）」できるよう多職種による支援の充実を図る。

#### (4) 安全管理の推進

ア 危険予知訓練(KYT)を実施するとともに事故発生時には速やかに検証し、リスクへの意識向上に努める。また、リスクマネジメント委員会においては、多職種が様々な角度から要因を検討し再発防止を図る。

イ 清潔な環境を整えるとともに標準予防策の徹底により感染症の拡大を防止する。

#### (5) 地域における公益的な取り組みの推進

ア 福祉の相談拠点として地域に寄与し、地域の研修や会議等へ積極的に専門職を派遣する。

イ 災害時等の地域住民の避難場所として「はごろもホール」を提供し支援に努める。